

リサーチユニット認定申請書

平成 24 年 5 月 11日

1. リサーチユニットの概要

リサーチユニットの名称 知の共有基盤		リサーチユニット
リサーチユニットの名称(英語)	Research Unit on Knowledge Resource Sharing Technology	
分野(1. 人社系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系)	4	
設置開始時期	2012 年	4 月
設置終了時期	2017 年	3 月

2. リサーチユニット代表者

所属・職名 図書館情報メディア系・教授(知的コミュニティ基盤研究センター)
氏名 杉本重雄
氏名(英語) Shigeo Sugimoto
E-mail sugimoto@slis.tsukuba.ac.jp

3. 中核教員(ただし、当該リサーチユニット代表者以外の本学常勤教員2名)

所属・職名 図書館情報メディア系・准教授
氏名 阪口哲男
所属・職名 図書館情報メディア系・准教授
氏名 森嶋厚行

4. 中核教員による競争的資金の獲得状況

(本申請年度を含む過去3年以内に、中核教員(当該リサーチユニット代表者含む)が研究代表者として獲得した科学研究費補助金基盤研究(B)以上もしくは若手研究(B)以上相当のものについて主なものを一つ)

採択年度	平成	22 年度
終了年度	平成	24 年度
研究種目	科研費基盤(A)	
研究課題名	デジタルアーカイブを核とするコンテンツ情報基盤構築のための総合的研究	
研究代表者名	杉本重雄	
交付予定金額(期間全体、間接経費含む)	44,590 千円	

共通様式②

6. 構成員数について

構成員総数	7 名
(内訳) 本学常勤教員	4 名
(内訳) 本学ポスドク数	0 名
(内訳) 他機関研究者	3 名

7. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		1303	1104	
8. キーワード(5つまで)	メタデータ	セマンティックウェブ	デジタルライブラリ	データ工学	データベース
9. キーワード(英語)	Metadata	Semantic Web	Digital Library	Data Engineering	Databases
10. 研究グループHP	URLを記載してください。 http://www.kc.tsukuba.ac.jp/div-org/index-j.html				
11. 研究グループ概要(100字程度)					
ネットワーク上で、知識と情報を探し、アクセスし、利用し、生産し、共有し、蓄積するために必要な技術を提供する基盤環境を作り上げることを目的とした研究を進める。					
12. 研究グループ概要(英語)					
This research unit promotes research and development of information technologies required for finding, accumulating, organizing, sharing, and utilizing the information resources produced by network communities.					
13. 設置の目的及び必要性					
ネットワーク上に作り出されるさまざまな情報資源を効率的、効果的に利用できるようにするための技術開発の重要性は広く認められている。Google等の検索エンジンが広く使われる一方、人間の持つ知を利用したより高度に意味的なサービスを実現していくことに対する要求は高い。そのため、デジタルライブラリやデータ工学の領域を基盤として、実務的なコミュニティ、海外のコミュニティとも連携しながらネットワーク環境におけるより高度な情報資源の共有のための技術開発に関する研究を推進する。					
14. 研究計画					
以下の点を中心に、研究を推進する (1) インターネット上での情報資源の発信性、共有性、相互運用性を高度化するためのメタデータ技術に関する研究 (2) インターネットを指向したデジタルアーカイブの開発性、利用性を高度化するための情報技術に関する研究 (3) 人が持つ知と計算機に蓄積された知の融合的利用による高度な情報環境の実現に関する研究					
15. 研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
(1) 本リサーチユニットの構成員は個人個人が先進的な研究活動の実績を有しており、リサーチユニット化することにより研究者間の連携性をより高めることができる。 (2) 本リサーチユニットの基盤となっている知的コミュニティ基盤研究センター・知の共有基盤研究部門を核として、大学外のコミュニティ、海外のコミュニティとも協調的な研究活動を推進できる。 (3) 大学院生、若手研究者に対して多様な視点から研究活動に参加する場を与えることができ、視野の広い研究者を育てることに資することができる。 (4) 研究成果を、大学院、学群の教育に反映することができる。 (5) 本リサーチユニットに学外から参加するメンバーは著名な研究者であり、国内、海外に広がりを持った研究活動を展開することができる。					